

平成30年度 かんがい排水事業 再評価調書

事業名	かんがい排水事業	地区名	かみいた 上板 地区
事業主体	徳島県	関係市町村	上板町
事業概要	<p>(事業目的) 本地区は、高志川周辺の低平地に位置し、大雨・大水のたびに湛水被害が生じており、農作物に多大な影響を与えている。湛水被害の最大の要因は、老朽化した六条暗渠の通水能力不足であることから、本事業を実施することにより、六条暗渠の通水能力を増大させ、排水条件を改良するとともに、生産性の高い農業経営の実現を図る。</p>		
	<p>(事業内容) 受益面積 278ha 受益戸数 368戸 主要工事 排水路工 1,060m 総事業費 2,668,646千円 (国50% 県25% 町25% 地元農家0%) 工期 平成6年度～平成34年度</p>		
評価	<p>(事業の進捗状況) 平成30年度末までに、排水路 579mを実施する見込みである。 平成30年度末の進捗率は、事業費ベースで59%である。</p>		
	<p>(関連事業の進捗状況) 一般農道 上板地区 (H9～H32) 進捗率42%</p>		
項目	<p>(社会経済情勢の変化) 本地区では、米作を主軸として、洋人参、大豆等の露地野菜や、茄子等の施設園芸による複合経営が定着している。 このため、引き続き本事業により、六条暗渠の排水条件を改良し、営農労力を節減することで、更なる生産性の高い農業経営を実現する必要がある。</p>		
	<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無) 特になし。</p>		
	<p>(事業効果の発現状況) 本事業の実施に伴い、排水路の整備を推進することにより、本地区の湛水被害が解消され、安定した農業経営が可能になる。 投資効率＝総事業効果額／総事業費＝ 1.68</p>		
	<p>(受益農家、関係機関の意向) 現在の六条暗渠は通水能力の不足から、高志川周辺の低平地における湛水被害を引き起こし、農作物に多大な影響を与えていることから、上板町や地元農家は事業の早期完了を要望している。</p>		
<p>(事業の実施方針) 継続して実施する。</p>			